

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱ケミカルグループ株式会社（証券コード:4188）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+

■格付事由

- 国内最大の総合化学グループの持株会社。グループは機能商品、ケミカルズ、産業ガス、ヘルスケアの4分野で事業を展開。高機能プラスチック素材や世界トップのMMAなど競争力のある製品を多数手掛けるほか、産業ガスは日本酸素ホールディングスグループが世界4位、ヘルスケアも田辺三菱製薬が国内医療用医薬品で大手の地位にある。現在、市場の成長性などを踏まえた選択と集中やグループ全体の一層の効率化など、企業価値最大化に向けた取り組みを進めている。格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 業績への下押し圧力は強いが、引き続き、底堅く推移すると考えられる。原燃料価格の高騰や世界的な景気減速などで足元の事業環境は厳しく、先般、発表された新型コロナウイルスワクチンの商用化断念も、成長戦略上、痛手である。ただ、機能商品は収益源の分散効果などを背景に概ね安定した収益力があり、産業ガスの収益は生産性向上活動の効果などで厚みを増している。また、悪化が続いていたヘルスケアの業績も反転してきた。財務構成は改善の途上にあるが、今後の進捗を見守る余裕はある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しも安定的とした。なお、石化・炭素事業の分離・再編に関しては現段階では具体的な内容は未定だが、その戦略的合理性などから見て、格付の悪材料になることはないとしてJCRでは判断している。
- 23/3期会社計画ではコア営業利益3,260億円（前期比19.7%増）を予想する。ケミカルズはMMA、石化を中心とした市況および需要軟化で大幅減益となるが、産業ガスの堅調な推移のほか、ヘルスケアが大幅増益となることで業績を押し上げる見込み。ヘルスケアは国内・北米の重点品・新製品販売の順調な拡大に加え、多発性硬化症治療薬「ジレニア」のロイヤリティ支払いについて仲裁判断がなされ、これまで認識していなかったロイヤリティを一括して売上収益として認識することが大きなプラス要因となる。なお、MMAおよびヘルスケアの構造改革に伴う関連損失の計上を主因に、営業利益は2,000億円（同34.0%減）の予想となっている。24/3期はヘルスケアの反動が想定されるが、コスト削減は従前の計画以上のペースで進捗しているもようであり、今後の業績の底上げに向けてサポート要因になると考えられる。
- 有利子負債は依然、2兆円を超えており、財務構成の改善はやや足踏みしている。23/3期第3四半期末のネットDERは1.45倍で、田辺三菱製薬の完全子会社化で悪化した20/3期末の1.79倍からは低下しているが、原燃料価格の高騰で運転資金が嵩んでいることが制約となっている。ただ、財務健全性の向上に向けた方針に変更はなく、当社では在庫圧縮や事業売却などもあわせ、有利子負債の削減を進めていく方針。また、親会社の所有者に帰属する持分は1.5兆円の規模があり、相応のリスク耐久力を有する。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：三菱ケミカルグループ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2013年6月4日	2023年6月2日	1.226%	A+
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2013年12月12日	2023年12月12日	0.918%	A+
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年6月17日	2024年6月17日	0.800%	A+
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年6月4日	2025年6月4日	0.755%	A+
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年12月3日	2025年12月3日	0.711%	A+
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年6月9日	2026年6月9日	0.320%	A+
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2016年6月9日	2036年6月9日	0.850%	A+
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年2月27日	2028年2月25日	0.370%	A+
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年2月27日	2038年2月26日	0.890%	A+
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2018年12月19日	2028年12月19日	0.420%	A+
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2018年12月19日	2038年12月17日	1.000%	A+
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年12月19日	2048年12月18日	1.388%	A+
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年5月30日	2029年5月30日	0.330%	A+
第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120億円	2019年5月30日	2039年5月30日	0.830%	A+
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2019年5月30日	2049年5月28日	1.214%	A+
第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年2月28日	2027年2月26日	0.230%	A+
第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年2月28日	2030年2月28日	0.280%	A+
第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2020年2月28日	2040年2月28日	0.690%	A+
第35回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250億円	2020年6月11日	2025年6月11日	0.190%	A+
第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2020年6月11日	2030年6月11日	0.400%	A+
第37回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年6月11日	2040年6月11日	0.830%	A+
第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年11月27日	2030年11月27日	0.360%	A+
第39回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年11月27日	2040年11月27日	0.770%	A+
第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年6月3日	2026年6月3日	0.090%	A+
第41回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年6月3日	2031年6月3日	0.330%	A+
第42回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年6月3日	2041年6月3日	0.740%	A+
第43回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	170億円	2022年6月9日	2032年6月9日	0.659%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	4,000億円	2022年9月8日から2年間	A+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年2月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2022年6月15日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 三菱ケミカルグループ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的、確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル